

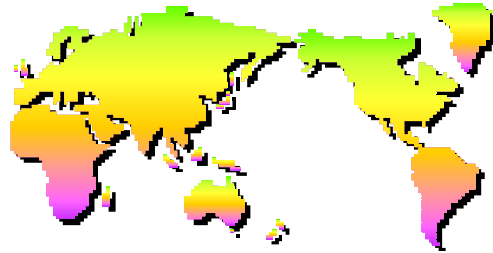
HABATAKE!黒陵とは、

1 SGH・SSH・WWL 指定を目指します。

○本校は、課題研究「きたかみ世界塾」と海外交流事業「HABATAKE!黒陵」の2つの活動を通して、文部科学省による「スーパーグローバルハイスクール (SGH)」「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」「ワールドワイドラーニング (WWL)」の指定を受けることを目指しています。これにより、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成したいと考えています。

○指定のメリットは次の2点があげられます。

- ・国費による支援により、国内外の大学、企業、国際機関との連携を図るとともに、より多くの生徒が海外研修に参加することができます。
- ・岩手県教育委員会により、国費に上乗せした支援や外部機関との連携に関する支援を受けることができるほか、継続した取組を行うための教員の人事面での配慮がなされます。



2 きたかみ世界塾

○世界をリードする価値創造型人材育成プログラムであり、主体的に地域課題をとらえ、それを解決するためのアクションを考え、発信することを学ぶものです。



○平成 30 年度の取組計画 (総合学習)

1年

- 5/11 オリエンテーション (学び方の共有)
- 5/18 仮設定ワークショップ
- 6/8 フィールドワーク行動計画の作成
- 6/29 「探求の大切さ」に関する講演会
- 8/24 夏休みのフィールドワークの発表会
- 10/26 「課題解決の実践」を共有する講演会

2年

- 5/11 オリエンテーション (学び方の共有)
- 5/18 仮設定ワークショップ
- 6/8 フィールドワーク行動計画の作成
- 6/29 「探求の大切さ」に関する講演会
- 8/17 フィールドワーク成果物作成
- 8/24 夏休みのフィールドワークの発表会

11/2,11/9,11/30

アクション検討ワークショップ
アクション案の具体化

12/14 中間発表

1/18 クラス内発表会

2/1 ふり返り

2/22 全体発表会



9/7 ふりかえりと後期プログラムの設定

12/14 冬休みの探求内容を深める

1/11 クラス内での最終成果物精査

1/18 クラス内発表

2/1 ふり返り



きたかみ世界塾実施体制

○メンター（まちづくりのプロとして課題と生徒の橋渡し役）

…北上市職員（平成30年度実績24名）

○コーディネーター（プログラムの作成、指導者のサポート）

…東北学院大学、いわてNPO-NETサポート

○ファシリテーター（生徒の主体的学びを促進）

…黒沢尻北高教職員

3 海外交流事業「HABATAKE!黒陵」

異文化的背景を持つ諸外国との交流を通して、視野の拡大・深化を図るために2016年にスタートしました。第1期・2期は深圳・香港に、第3期は北上市との姉妹都市提携45周年を迎えるカリフォルニア州コンコードに、それぞれ10名を派遣しました。



○平成28年度海外交流実績

- ・官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム（オーストラリア ゴールドコースト 7/24～8/14）1名
- ・HABATAKE！黒陵（中国・深圳 3/12～3/18）10名

○平成 29 年度海外交流実績

- ・希望郷いわてグローバル人材育成事業海外派遣アメリカコース
(9/14 ~ 10/4) 1 名
- ・希望郷いわてグローバル人材育成事業海外派遣中国コース
(10/30 ~ 11/7) 1 名
- ・HABATAKE ! 黒陵
(中国・深圳 3/11 ~ 3/17) 10 名

○平成 30 年度海外交流実績

- ・オンタリオ州現地学校生活体験研修 (国連協会主催)
(3/25 ~ 4/3) 1 名
- ・対日理解促進交流プログラム (JENESYS 2018 韓国派遣)
(10/21 ~ 10/27) 1 名
- ・いわての地域国際化人材育成事業 海外派遣研修 (中国雲南省コース)
(10/25 ~ 11/3) 1 名
- ・HABATAKE ! 黒陵
(カリフォルニア州コンコード 3/27 ~ 4/3) 10 名